

幼稚園・保育園巡回相談で保育者が求めていること

キーワード：幼稚園 保育園 保育者 巡回相談

○稲場 健

ブラーカスマイルランド発達支援センター

I 目的

現在、幼稚園・保育園を巡回し保育者の相談にのる事業は多くの地域で実施されている。その際、保育者は外部からくる巡回者にどのようなことを求めているのだろうか。このことを知る目的で調査を行った。

II 方法

対象：筆者が巡回している幼稚園 3 園、保育園 4 園計 7 園で相談を申し込んだ保育者。平成 25 年度に巡回した前掲 7 園計 42 回の巡回相談を対象とした。

調査内容：相談申込時、保育者が記入する用紙のうち、「発達支援スタッフにききたいこと」の項目に書かれた文章を分析した。なお、全対象者において巡回する筆者が臨床心理士であることは把握されていた。

分析：同一保育者の相談は求めていることも似通ってくると思われた為、計 42 回のうち、同一保育者の継続相談である 15 回を対象から外し、個別の保育者の初回ケースのみの計 27 回を分析対象とした。分析は K J 法により、相談者である保育者が記載した上記内容を意味の単位毎に区切り、分類、カウントした。

倫理的配慮：対象者に、本調査の目的、内容について説明し、調査及び発表に関する同意を得た。

III 結果

※ () 内はラベルの数

K J 法により 64 のラベルが取り出され、それらのラベルは 18 のカテゴリーに分類された。そしてそれらはさらに 5 つの大カテゴリーにまとめられた。大カテゴリーは多い順に『園児への関わり方を相談したい (34)』『保護者対応について相談したい (13)』『状況を伝えたい (11)』『園児の行動の意味を知りたい (4)』『園児の理解度を知りたい (2)』であった。

『園児への関わり方を相談したい』グループのカテゴリーは多い順に、「具体的な場面・状況での関わり方(10)」「関わり方全般について(9)」「この対応でよいか(5)」「集団の中での関わり方 (3)」「進級・就学に向けて (3)」「職員体制の中での関わり方 (2)」「園児の心情に配慮した関わり方(2)」の 7 つであった。『保護者対応について相談したい』グループのカテゴリーは「保護者対応全般について(6)」「保護者への伝え方 (6)」「子どもとの関わり方の教え方 (1)」の 3 つであった。『状況を伝えたい』グループのカテゴリーは「発達における園児の心配な状況 (6)」「発達における園児のよくなっている状況(3)」「園児への保育者の思い(1)」「保育者自身の現状(1)」の 4 つであった。『園児の行動の意味を知りたい』グルー

プのカテゴリーは「具体的場面・状況での行動の意味 (3)」「行動の意味についての保育者の見立て (1)」の 2 つであった。『園児の理解度を知りたい』グループのカテゴリーは「園児の全般的な理解度を知りたい (1)」「園児の具体的領域における理解度を知りたい (1)」の 2 つであった。

IV 考察

1 番多かった求めは園児への関わり方であった。その中では具体的な場面・状況での関わり方が多く求められていた。これは「日々関わる」という具体性を有する業務と関係していると考察された。また、関わり方の中では「この対応でよいか」と巡回者に確認したいという求めもあった。それは日頃関わりを確認できる機会が多くないことと関連していると考察された。専門職として見立てをもち関わっているが、マンパワーの現状から一人で業務を抱えこまざるを得ない状況もあるのではないだろうか。よって、外部の巡回者に「この対応でよいか」確認し、援助を点検することや、「これでよい」と背中を押してもらえる体験も保育者にとって重要と考えられた。他にも、集団の中でどう関わるかという求めがあった。これは保育者は子どもの集団と日々関わっているからだと考えられた。

2 番目に多かった求めは、保護者対応についてであった。発達支援上、保育者が心配していることを「どう伝えるか」で悩んでいる現状があった。このことは、重要かつ繊細な内容であるという保育者の自覚と、園児ほどには接触頻度の低い、保育者からみた保護者の分からなさが関係していると考えられた。

3 番目に多かったことは、状況を伝えたいということであった。状況が詳しく記載されていた内容からは、とてもよく観察している保育者の様子の他、外部の巡回者に園児や保育者自身のことをわかってほしいという求めがあると考察された。よって、それらをわかってほしいという保育者の話をしっかり聞くことも、基本かつ重要な支援のひとつなのではないだろうか。

V 結論

外部からくる巡回者に保育者が求めていたことは、園児への関わり方が一番多く、次いで保護者対応であった。支援の内容として保育者は、具体的なやりとりや、この対応でよいかの確認を求めていた。外部の巡回者に状況を伝えたいという求めもあるので、保育者の話をしっかり聞くことは保育者の求め全体とも関連する基本かつ重要な支援となるであろう。